



# 皆様の「快適な暮らし」のヒントに すまい造りメール

第159号 2015年6月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成27年5月30日  
発行元有限会社佐野工務店  
〒237-0068  
横須賀市追浜本町1-25  
TEL 046(865)4010  
FAX 046(865)6139  
http://www.sano-k.net/  
info@sano-k.net

## 「前略 おせわ様。」

最近時々発生する季節外れの台風のような暴風雨の影響で、屋根のメンテナンスを担当させていただくことがあります。今後のメンテナンスにご活用いただけるようご説明させていただきます。

コロニアルの棟包（板金）が外れるといった被害が多くあります。これは、板金と屋根の間に施工した下地の杉板が湿気等でふやけてしまい、釘が効かなくなったのが原因と思われる。板金自体に損傷がなく、フェルトにも亀裂がない場合



は、杉板を交換して固定すれば、雨漏りを防ぐことができます。ただし、コロニアル自体が傷んでいたなら、屋根の張り替えが必要となります。

どちらにしても、適切な点検が適切な時期に必要です。

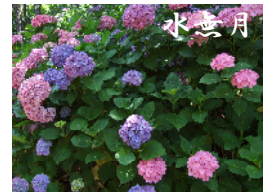
## 「前略 おせわ様。」

介護保険制度を利用して、トイレに手すりを設置する住宅改修工事を担当させていただきました。お住まいをご紹介させていただきます。部屋の雰囲気を変えずに補助板も含め、白で統一したいというご要望でした。壁と同色のため、ご利用される方が見づらいのではという懸念がありましたが、金物部分で区別がつくため、問題はありませんでした。清潔感のある仕上がりました。



## Oppama 風物詩

追浜周辺で、季節を感じるような自然や風景、イベントをご紹介します。



### 「八景島のアジサイ」

海に囲まれた横浜・八景島シーパラダイスの園路沿いに約20,000株のガクアジサイや西洋アジサイが咲き乱れる「八景島あじさい祭り」が6月6日(土)～28日(日)開催されます。お茶会などさまざまなイベントも開催されます。梅雨時にはアジサイが似合います。

(2007年6月17日撮影)

皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます  
創業 1960.1.20. Next50  
創刊 2002.4.1.

今年初めに弊社ホームページにアクセスいただき、店舗補修工事を担当させていただきました。ご自宅のリフォームを担当させていただきました。ご紹介させていただきます。今回は現在お使いの玄関ドアを新しくする工事です。LIXILの玄関ドアリシェントを既存の壁や天井を傷つけることなく、取り外しから設置まで一日で完了する「1dayReform」で仕上げました。

## 「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

玄関に爽やかな風を取り込むことを目的としたため、採風窓の付いたガラスに交換しました。「玄関特有のもわっとした感じが解消されました。デザインも気に入っています。」というご感想をいただきました。



「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピフォア、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。

LIXILの玄関ドアリシェント

## ほそく だそく 補足&蛇足



アジサイとともにホテルも気になる季節となりました。昨年の夏に遊歩道が整備された小網代の森では、5月30日(土)～6月14日(日)の期間の午後7時から9時までの間、ホテルを観察することができます。



小網代の森内での通行規制、懐中電灯を持参するなどのホテル観察時の注意事項については神奈川県ホームページの「小網代の森の利用について」をご確認ください。

皆様のひつじとなって  
お役に立てるように  
心掛けます



## 横須賀製鉄所物語（明治天皇行幸）〈21〉最終回

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話を伺いました。

『横須賀海軍船廠史』の明治4年紀には「11月21日 天皇陛下二八横須賀造船所天覧ノ為メ御前9時東京濱御殿ヨリ龍驤艦へ乗御午後3時横須賀 御著艦官廳前二御上陸…」と明治天皇行幸の記述があり、横須賀造船所（明治4年製鉄所が造船所と名称変更される）の各施設を御巡覧され、23日に東京丸により還幸されました。

孝明天皇の時代までは、ほぼ御所の中で過ごされていたので天皇のお姿を見ることはできませんでしたが、孝明天皇は1863年（文久3）3月と4月に賀茂社と石清水八幡宮に行幸されるまでは、237年の長い間天皇は御所をでることはありませんでした。

こうした背景には、1615年（慶長20）徳川秀忠により江戸幕府と天皇及び公家に対しての関係を定めた「禁中並公家諸法度」によるもので、江戸幕府としては天皇家には祭祀・学問を求め、政治については鎌倉時代からの武家によるものとしていました。しかし、明治新政府の樹立により、佐々木克『幕末の天皇・明治の天皇』によれば、大久保利通は理想に描いていた天皇像をヨーロッパの帝王のようなイメージであったので、その為には天皇の生活空間を一新する改革をすることから始めるべきと岩倉具視に上申したと述べています。

そこで、近代的な新たな天皇へと転換するために、積極的に政務に関与すると共に、そして、閉ざされた天皇から開かれた天皇へと行幸啓・巡幸が実施されることになりました。その先駆けとなったのが横須賀造船所への行幸でした。

この行幸が無事に成功したのを受けて1885年（明治5）5月28日から7月12日にかけて近畿・中国・九州の第一回巡幸が実施され、引き続き第六回1885年（明治18）までの巡幸が実施される中、明治新政府が目指す中央集権国家が進行することになりました。

明治天皇の実質的な行幸・巡幸は横須賀造船所から始められたもので、その後の天皇・皇后陛下の横須賀造船所への行幸啓により、行幸啓の礎が築かれたと言っても間違いのないものと思います。

『新横須賀市史』『年表』によれば、明治天皇・皇后の横須賀造船所への行幸啓は、造船所視察・艦船命名・進水式に18回もの多きに亘り及んでいます。

国道16号を通過する際には、日本の近代国家の幕開けともなる天皇行幸の発祥の地となる事実を、ジッと見つめようではありませんか。

（元横須賀市助役井上吉隆）  
「横須賀製鉄所物語」(完)



## 「これっきり」ではありません

第137号（2013年8月号）から「街並探訪」のコーナーの「横須賀製鉄所物語」を21回に亘り、ご覧いただきましてありがとうございました。次回からは新しいシリーズで、「横須賀ストーリーズ～山盛百話～」と題して、引き続き、井上吉隆氏に寄稿していただき、横須賀市の変遷や街づくりのこぼれ話について、お話を伺います。第1回は、「カレーの街よこすか」の誕生秘話についてお届けします。



### お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2015」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店  
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索